

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 30 日作成)

|                              |  |                               |                               |
|------------------------------|--|-------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名                        | 温度荷重小委員会   |                               | 主 査 名：中島秀雄<br>就任年月：2016 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 構造委員会<br>(荷重運営委員会)   |                               | 委員長名：塩原等<br>主 査 名：高橋徹         |
| 設 置 期 間                      | 2016 年 4 月～2020 年 3 月  |                               |                               |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <p>日射や室内温度と言った多くの温度条件(温度荷重)による建物の構造体の変形、応力を把握し、適切な設計対応を可能とするための指針を示すことが小委員会としての活動目的である。</p> <p>初年度：「温度荷重設計資料集」「建築物荷重指針・同解説「建築物荷重指針を活かす設計資料1」の普及と見直し</p> <p>2 年度：荷重指針英文化、構造体温度等実測計画、その他の検討課題の抽出</p> <p>3 年度：構造体温度実測実施</p> <p>4 年度：構造体温度の実測と解析値の比較検討</p> |                               |                               |
| 委員構成<br>(委員名(所属))            | <p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：中島秀雄(小山高専)</p> <p>幹事：池田周英(竹中工務店)、久木章江(文化学園大)</p> <p>委員：石川孝重(日本女子大)、長瀬 悟(日建設計)、浅井英克(大林組)、伊藤博夫(伊藤構造環境研究所)、小林秀雄(日本設計)、永田明寛(首都大学東京)、持田悟(東京都まちづくりセンター)、李在純(大建設計)</p>   |                               |                               |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           |  |                               |                               |
| 2017 年度予算                    | 40,000 円   | ホームページ公開の有無：無<br>委員会 HP アドレス： |                               |

| 項 目  | 自己評価   |
|--|--|
| 委員会開催数                                     | 4 回 (年度内計画を含む)   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は除く)                      |  |
| 講習会  |  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>* 能力開発支援事業委員会承認企画 |  |
| 大会研究集会                                     |  |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等                         |  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係)             | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計画通りの達成度であった。</li> <li>2. 荷重指針英文化、査読対応を行った。</li> <li>3. 建築物の構造体温度実測計画について議論した。</li> <li>4. 温度荷重が鋼構造物の疲労に与える影響について予備的な検討を行った。</li> </ol>    |
| 委員会活動の問題点・課題                               | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 荷重組合せの扱い方について整理する。</li> <li>2. 温度荷重による被害事例を収集し、それらへの対策を整理する。</li> <li>3. 非構造部材の温度荷重による留意事項を整理する。</li> <li>4. 国際基準との整合性について整理する。</li> </ol> |